

日本マクロエンジニアリング学会 第40回春季研究大会

主催：日本マクロエンジニアリング学会
後援：NPOマクロエンジニアリング研究機構

日本マクロエンジニアリング学会は“持続可能な未来を創造するマクロエンジニアリング”をキャッチフレーズに、“研究・発表・実装を通じ、社会に貢献する”としております*1。

本研究大会では、SDGsの実情・課題やその影響分析、コロナ禍を超え新しいスタイルが求められる中、リモート授業の利点・欠点・課題、持続可能を問われる新しい農業施策、更には未来を創造する新しいマクロ経済学についてご報告いただきます。

質疑応答や総合討論を設けてございますので、皆様とご一緒に考察・討論できればと存じます。一般の方も無料ですので、多くのご参加をお持ち申し上げております。

*1 日本マクロエンジニアリング学会の活動主旨、エンゲージメントビデオは <https://www.jame-society.jp/> の中段を参照ください。

日時 2021年4月24日(土) 15:30~18:00

場所 Web会議（参加希望者は事務局にその旨、連絡ください。URL等を発行します）

参加費 一般：0円（入会いただくと、全イベント参加費無料、初年度は年会費免除）
本学会員：0円（学生は学生証を掲示いただければ無料、学生会員は年会費免除）

プログラム 一般公演 発表20分、質疑5分（発表者交代を含む、若干の前後が予想されます）

15:25 開場、受付（それまで会員は総会、非会員は待合室） 司会 企画委員長

15:30 開会あいさつ 日本マクロエンジニアリング学会 会長 角田 晋也

15:35 大学における対面なき遠隔授業に関する一考察～日本工業大学の環境系科目「エコ入門」を例として～ ○八木田浩史（日本工業大学 共通教育学群）

16:00 高等学校におけるSDGs教育の実態分析～東北地方の現状と課題を中心に～
○小山内詩織；劉庭秀；大窪和明（東北大学大学院 国際文化研究科）

16:25 民間企業による古紙回収が廃棄物行政に与える影響分析
～スーパーの資源ゴミ回収ステーションを事例に～
○劉曉玥；劉庭秀；大窪和明（東北大学大学院 国際文化研究科）

16:50 都市近郊農家における高収益野菜の品種選択の要因に関する予備的考察
○新田義修；阿部ひまわり（岩手県立大学）

17:15 社会科学としての経済学：カレツキのマクロ経済学（仮題）
○松谷泰樹（中央大学経済学部）

17:40 総合討論および閉会の挨拶 日本マクロエンジニアリング学会 理事長 小島紀徳

お問い合わせ 日本マクロエンジニアリング学会事務局

〒195-0054 東京都町田市三輪町530-1（株）デザインウォーター内

電話 044-701-0600 FAX 044-988-1876

Mail : info@jame-society.jp URL : <https://www.jame-society.jp/>



<沿革>

日本マクロエンジニアリング学会は、元外務大臣の大来佐武郎氏、OECD 科学技術政策委員会議長(当時)の大島恵一氏、元東京大学総長茅誠司氏、日本学術会議会長(当時)の伏見康治氏、日本学士院(当時)の和達清夫氏らの肝煎りで、1985年に創設された学術団体です。